

AI 搭載の BCP 訓練ツール「dan-lo」を提供開始

リスクマネジメントコンサルティングを手掛けるニュートン・コンサルティング株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：副島 一也）は、2025年5月15日より AI 搭載の BCP 訓練ツール「dan-lo」の提供を開始します。

「dan-lo」は、自然災害やサイバー攻撃、不祥事などのさまざまな訓練のシナリオ作成、配信、実施状況・結果の確認まで、BCP 訓練をトータルに支援するクラウドサービスです。

▼詳細・お申込み

https://www.newton-consulting.co.jp/dan-lo_lp/



AI 読み込み機能により、自社の所在地や独自ルールに則った訓練シナリオを瞬時に作成

1. サービスリリースの背景

創業から約 20 年を迎える当社は、リスクマネジメントに特化したコンサルティングファームです。全社的リスクマネジメント（ERM）や事業継続計画（BCP）、IT-BCP、サイバーセキュリティなどの支援サービスを提供し、リスクマネジメントの普及に努めてきました。その支援実績は民間企業をはじめ官公庁や地方公共団体、国立大学法人に至るまで幅広く、延べ 2,100 社に上ります。

この度、当社のビジョン“「あの時もっとこうしておけば良かった」を世界からなくしたい”をさらに推し進めていくために、AI 搭載の BCP 訓練ツール「dan-lo」を開発しまし

た。

多くのお客様をご支援していく中で、当社が組織の危機対応力を向上させるのに最も効果的だと考えているのは、訓練です。それもできるだけ頻繁に、より多くの従業員を巻き込んで実施することで、自社のBCPを継続的に改善していくことが望めます。

支援の現場から得た豊富な知見をふまえて開発したAI搭載の「dan-lo」は、危機管理担当が抱えがちなお悩み、訓練シナリオのマンネリ化や複数拠点を巻き込んだ訓練の難しさ、実施する際の事務局の工数増大などを解決します。また、専門知識がなくても訓練で洗い出された改善ポイントが明確に提示されるため、手間なくBCP訓練を最適化し、有事に強い組織づくりを促し、企業の持続的な成長につなげることが可能です。

2. サービス概要

【dan-loの特長】

1) 訓練シナリオをAIで生成、コンサルタント監修の最新シナリオも多数搭載

大規模地震、風水害、サイバー攻撃、地政学リスク、企業不祥事……など、専門コンサルタント監修の常に新鮮で多様な最新シナリオを用意。また、自社のBCP関連資料をAIで読み込むことで、自社の環境を反映したシナリオ作成も可能に。よりリアルな状況を想定した訓練が可能のため、全社員の危機対応力が確実に向上します。

「dan-lo」訓練シナリオ作成の画面イメージ

2) 集合訓練や個人訓練、拠点や部門ごとでも柔軟に実施

集合訓練と個人訓練の両方に対応し、これまで実施が難しかった遠隔地の店舗、工場、支社・支店などでも手軽に訓練を行えます。忙しい従業員も、無理なく参加が可能です。これにより、拠点間の実効力の差を解消し、組織全体の危機対応能力を向上させることができます。



「dan-lo」 訓練実施の画面イメージ

3) 訓練結果を AI が評価

自社が策定した BCP（事業継続計画）などを基に、AI が自動で評価。AI の評価を確認しながら訓練内容を訓練参加者自身で振り返り、結果を確認することができます。速やかに現場へのフィードバックができるとともに、訓練結果を集約することで実践的な対応能力を強化。組織全体の危機管理体制を効率的に向上させます。

訓練結果と総評

総合訓練点数

72

点

総合訓練ランク

B

ランク

検査事項別の評価

① 発災当日		
検査事項1	Lv3	検査事項2 Lv3
② 発災翌日		
検査事項1	Lv4	
③ 発災3日後		
検査事項1	Lv4	

総評

復旧すべき事業、業務の優先順位はよく検討できていたが、社内外の連絡方法（「誰が」「誰に対して」「何を」「どうやって」）の検討が不足していました。BCP行動計画書の記載を改めて確認していきましょう。今後は文書に記載されていない事項についても、状況を考慮したうえで検討ができると、更なる実効力の向上が期待できます。

① 発災当日 [状況を表示]

検査事項1

情報収集すべき事項を洗い出し、連絡方法を検討してください。その際、人命保護と事業継続の2つの観点で検討してください。

対応方針 - あなたの回答

- ① 人命保護の観点
 - ・拠点内の安否確認状況、負傷者・死亡者の数：点呼と安否確認システムで確認
- ② 事業継続の観点
 - ・製造設備の被害状況：所管の工場からの報告を取りまとめ、対策本部会議で共有
 - ・インフラの被害状況：所管の工場からの報告を取りまとめ、対策本部会議で共有

① 解説

発災当日の時点で収集すべき情報と連絡方法・連絡先は以下の通りです。
 なお、重要な報告事項は対策本部会議での報告とする。

【製造部門】

- ・目撃者および所管工場の安否確認状況等、人命に係る情報：点呼/安否確認システムで確認、グループチャットで安否確認チームに報告
- ・工場設備の被害状況：所管工場での目視確認、グループチャットで対策本部全体に報告

「dan-lo」 訓練結果の画面イメージ

【dan-1o を活用した訓練】

dan-1o 導入により、訓練（シナリオ）準備、訓練実施、結果とりまとめを簡便化し、訓練運営者の負担を大幅に減らすことが可能です。



■ 共通機能

- ・ 訓練シナリオの作成
- ・ 訓練対象者への配信
- ・ 訓練実施後の評価・解説
- ・ 訓練実施状況のモニタリング

■ 訓練種別による機能・ポイント

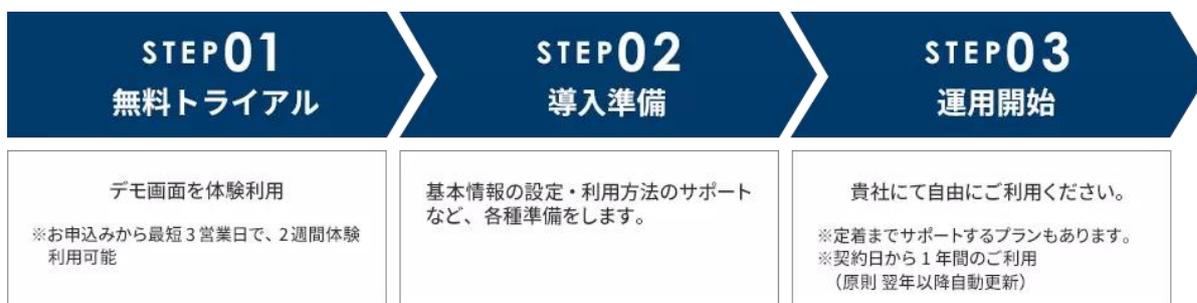
1) 集合訓練

- ・ シナリオと検討事項を皆で見ながら対応策を議論できる
- ・ 入力した検討結果を AI が評価してくれる
- ・ 訓練結果の確認、振り返りが実施できる

2) 個人訓練

- ・ スマホでも手軽に訓練ができる
- ・ 各個人がスキマ時間で訓練を実施できる
- ・ 全社員が参加することで、組織全体の危機対応力の底上げにつながる

【dan-1o ご利用開始の流れ】



【対象】

- ・危機対応の訓練を自社で推進したいお客様
- ・事業や拠点が多く、事務局のリソース不足を感じているお客様

【期間】

1年間～（無料トライアルは2週間）

【価格】

応相談

【主な機能】

・シナリオ作成

地震・サイバー攻撃などの最新事例のデータをもとにシナリオを簡単に作成。AI生成および専門コンサルタント監修のシナリオテンプレートを利用可能。シナリオ編集も柔軟にできます。

・訓練配信

集合訓練から個人訓練まで、各従業員や拠点へ迅速に配信。スマホやPCを活用し、時間や場所を問わず訓練を進行できます。

・訓練実施状況のダッシュボード

訓練の実施状況をリアルタイムで可視化。部署・拠点ごとの確認など、訓練結果の集計・分析をサポートし、効果的なPDCAを実現します。

【詳細・お申込み】

https://www.newton-consulting.co.jp/dan-lo_lp/



【ニュートン・コンサルティング株式会社 概要】

<https://www.newton-consulting.co.jp/>

社名 : ニュートン・コンサルティング株式会社
所在地 : 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビルディング 5F
設立 : 2006年11月13日
資本金 : 30,000,000円 (2024年12月末時点)
代表者 : 代表取締役社長 副島 一也
事業内容 : リスクマネジメントに関わるコンサルティング

【サポート実績】

内閣府、内閣サイバーセキュリティセンター、経済産業省、一般社団法人全国銀行協会、東京ガス株式会社、三菱商事株式会社、積水化学工業株式会社、武田薬品工業株式会社、ヤフー株式会社、デル・テクノロジーズ株式会社、他、約 2,100 社の支援実績を有する
～お客様事例～

<https://www.newton-consulting.co.jp/casestudy/>

【本件に関するお問い合わせ先】

ニュートン・コンサルティング株式会社

担当 : 吉田

TEL : 03-3239-9209 FAX : 03-5913-9950

E-MAIL : info@newton-consulting.co.jp